

令和6年度屋外拡声子局保守点検業務 仕様書

1 目的

三原市が設置する屋外拡声子局について、FM告知放送システムと連携して放送を実施する機能の点検及び試験を実施することにより、機器の正常な動作の維持を図ることを目的とする。

2 履行期間

契約締結日から令和6年6月7日（金）まで

3 履行場所

別紙1「屋外拡声子局保守点検場所一覧」及び別紙2「保守点検位置図」による

4 業務内容

別紙3「屋外拡声子局保守点検測定項目等一覧」による

5 業務の実施

- (1) 受注者は、実施日時など業務の履行に必要な事項を事前に発注者と協議のうえ、点検工程表を提出するものとする。
- (2) 点検作業の実施は、開庁日を原則とし、土曜日、日曜日及び祝祭日を除く午前9時から午後4時までの間に実施すること。
- (3) 点検に従事する作業員は、機器に精通した経験者を配置すること。
- (4) 作業の実施にあたっては、常に安全管理について必要な措置を講じ、事故等の発生防止に努めること。
- (5) 業務に必要な測定器類、材料及び保守員等は、受注者の負担において準備するものとする。
- (6) 点検中、機器の機能に支障が生じているなどの異常を発見した時は、直ちに発注者に連絡して指示を仰ぐものとする。
- (7) 屋外拡声装置、支線、スピーカー、空中線などの接続部のボルト及び金具類などにゆるみや不具合があり落下の危険がある場合や、自立マスト基礎部に破損などがあり、倒壊の恐れがある場合などにおいては、直ちに発注者に連絡して指示を仰ぐものとする。
- (8) 点検作業中に、建物又は器物等に損傷等を与えた場合は、速やかに発注者に報告するとともに、受注者の責任において現状に復旧すること。
- (9) 点検終了後は、点検結果及び不具合に対して実施した一次措置の内容、不具合に係る対応策の提案などを業務報告書に取りまとめ、速やかに発注者に報告するものとする。
- (10) 不具合箇所及び予防処置など対応が必要な箇所がある場合は、写真を撮りその証拠となるものを提出すること。
- (11) 機器の修繕など、別途費用のかかる措置については、修繕に係る見積書を提出すること。

7 その他

- (1) 作業の実施に必要な全ての費用（材料費、交通費等）を含めること。
- (2) この仕様書に疑義が生じた場合又は定めのない事項は、発注者と協議のうえ決定すること。
- (3) この特記仕様書に詳細な明示がない事項であっても、本業務の目的上、技術的に当然具備すべき事項については、受注者の負担において充足するものとする。

屋外拡声子局保守点検場所一覧（令和 6 年度実施）

	位置図 No.	履行場所
1	No. 23	幸崎久津地区（久津公民館付近）
2	No. 38	旧久井高校
3	No. 39	泉コミュニティホーム
4	No. 40	久井南コミュニティセンター
5	No. 41	久井認定こども園
6	No. 42	旧久井小学校
7	No. 44	旧神田東小学校
8	No. 45	旧神田保育所
9	No. 46	福田コミュニティホーム
10	No. 47	萩原コミュニティホーム
11	No. 48	篠コミュニティホーム
12	No. 49	蔵宗コミュニティホーム
13	No. 53	大和中学校
14	No. 57	旧大草小学校
15	No. 58	河頭生活改善センター

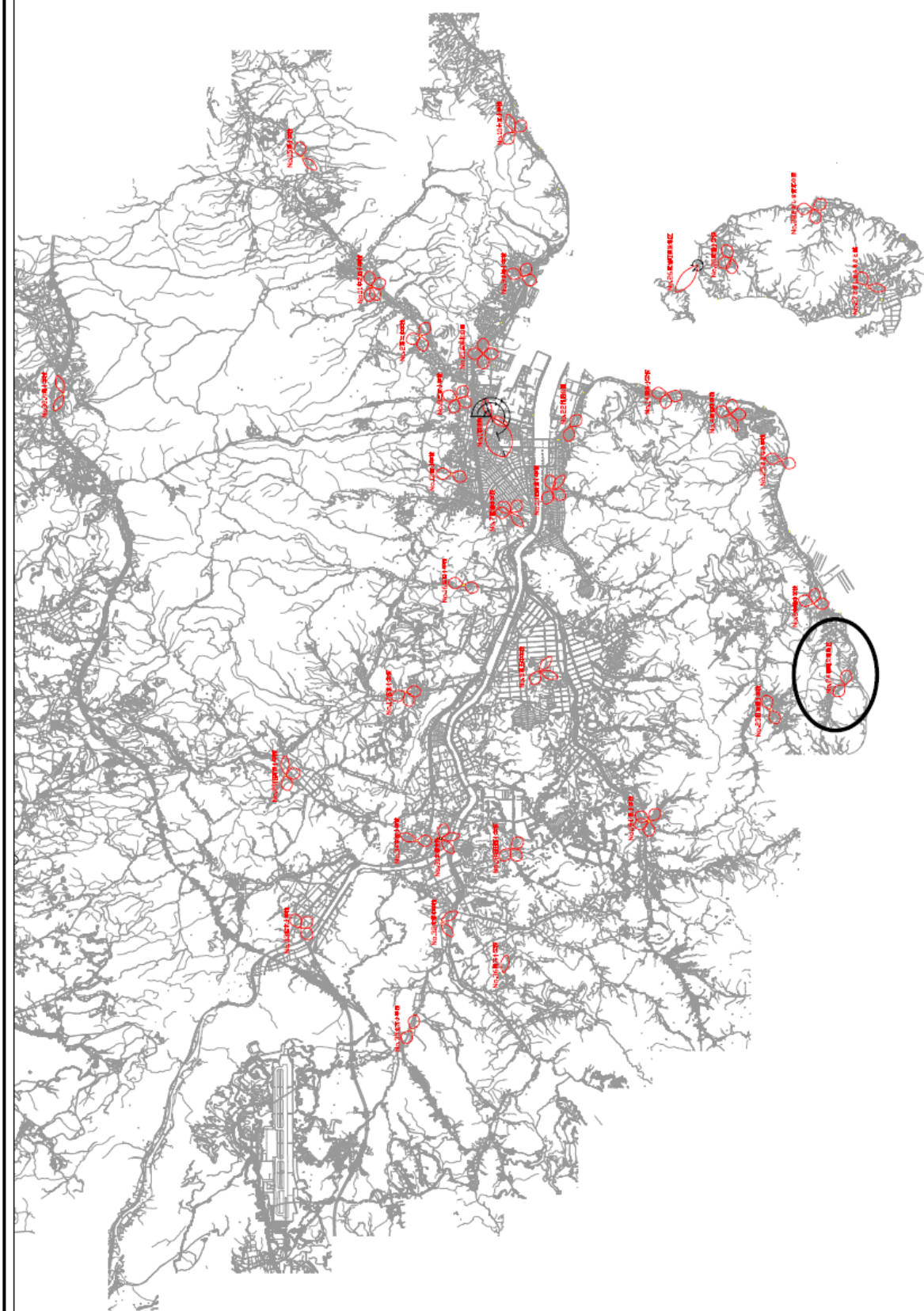


图 3 外村平遥县重建工程（工程）旧三县、平遥地区
三 原 市
正 比

屋外拡声子局保守点検測定項目等一覧

		点検箇所	点検内容	
外観点検	地上からの目視点検	屋外拡声装置	ケーブル、ユニット、機器類等に外傷や破損がないこと。	
		自立マスト	屋外拡声装置、支線、スピーカー、空中線などの接続部にゆるみがないこと。 支線の著しいたわみがないこと。 基礎の破損、地際での腐食がないこと。	
		FM アンテナ	アンテナ素子が折れていないこと。 アンテナ方向をコンパスグラス等にて確認。	
		スピーカー	スピーカーやスピーカー配管に外傷や破損がないこと。 スピーカー方向をコンパスグラス等にて確認。	
屋外拡声装置点検・測定	機器測定	入力レベル	ケーブル入力レベル	制御周波 (77.8MHz) が送信されているケーブルの入力レベル値が、外部出力受信機の仕様 (30 dB~80 dB) におさまっているか。
			アンテナ入力レベル	CFM (87.4MHz) を受信しているアンテナケーブルの入力レベル値が外部出力受信機の仕様 (30 dB~80 dB) におさまっているか
		電源・電圧点検	電源供給部 (DC12V 側)	電源供給を行っている端子台で DC12V±5%の値を大幅に下回っていないか。
			電源供給部 (DC24V 側)	電源供給を行っている端子台で DC24V±15%の値を大幅に下回っていないか。
	停電時 DC 出力 (BATT 出力)		バッテリー 2 台直列の状態 で DC26~27V を大幅に下回っていないか。	
	商用電源 (AC100V 側)		引込線からくる電圧がアンプ入力口までに AC101V±6V を大幅に下回って到達していないか。	
	外部出力受信機・スピーカー等	電源	電源ランプ	電源供給時、電源ランプが点灯状態になっているか。
		有線・無線切替確認試験	受信ランプ (有線接続確認)	ケーブル入力側を接続している時、受信ランプが点灯しているか。
			受信ランプ (無線接続確認)	受信ランプが点灯状態で、ケーブル入力側の同軸ケーブルを外した時、ケーブル入力からアンテナ入力に切り替わり、受信ランプが 1 分程度で点滅から消灯に切り替わるか。
	受信ランプ (有線無線接続なし)		ケーブル入力とアンテナ入力の各ケーブルを外し、CATV や CFM から受信していない場合に受信ランプが点滅になるか。	

	スピーカー出力確認	音声ボタン	FM みはらの放送音声外部出力受信機の内部スピーカーから送出されるか。 通常放送音量調整つまみにて、音量可変が可能か。
		接点ボタン	(※事前に、通常放送音量調整つまみを絞った状態にしておくこと。) FM みはらの放送音声屋外スピーカーより送出されるか。 通常放送音量調整つまみにて、音量可変が可能か。
		自動起動点検	ケーブル放送試験 (※事前に、通常放送音量調整つまみを絞った状態にしておくこと。) ページング放送により、屋外スピーカーから音声送出されるか。
	ブレーカー・バッテリー	停電時駆動状況確認	バッテリー駆動確認 ブレーカースイッチをテストモードに切り替えてスイッチを OFF にし、自動的にバッテリー駆動で切り替わるか。
		ブレーカー復帰	ブレーカー復帰 ブレーカースイッチを OFF にし、自動復帰ブレーカーが作動してスイッチが ON になるか。
	不具合に対する一次措置	一次措置内容	屋外拡声装置内の清掃 錆・腐食部分へのローバルでの錆止め 管路口等の防水粘土などによる再形成 自立マストの支線やネジ、ボルト部分の増し締め その他、点検で携行できる器具等によって対応可能な措置
写真撮影	写真撮影について	機器やケーブルなどの動作や状態が分かるように写真撮影を行うこと。 屋外拡声装置は点検前後の写真撮影を行うこと。 一次措置を実施した場合は、実施前後の写真撮影を行うこと。	